

2000年 5月30日

喫食阻害試験成績書

報告書

松井化学 御中

先般、ご依頼賜りました試験につきまして、別紙のとおり報告致します。

株式会社  ブル
 兵庫県伊丹市  4番8号
 〒670-0202
 TEL 079-27(78)2788

検体名	KS-1 3%加工ウール布 KS-1 5%加工ウール布 マモDBP 3%加工ウール布 マモDBP 5%加工ウール布	防虫剤 モス原体使用
試験実施日	平成12年 5月11日～ 5月26日(15日間)	
供試虫	ヒメカツオブシムシ幼虫(累代飼育個体群)	
試験方法	<p>内径約4.1cm, 深さ約1.6cmのガラスシャーレに、供試虫25個体と直径約4cmに切ったウール布を入れ、金網で蓋をした。</p> <p>これを約25℃, 76%Rh, 全暗の恒温恒湿条件下で静置し、15日間後にウール布の喫食量と供試虫の生死を観察した。</p> <p>なお、試験開始時と終了時の環境湿度の違いによる試験布の重量の変化を補正するために供試虫を入れない基準布を準備した。</p>	
結果	<p>試験の結果は別紙の通りであった。</p> <p>試験の結果「KS-1(3%)加工布」, 「KS-1(5%)加工布」では有為な喫食阻害効果が得られたが、「マモDBP(3%)加工布」, 「マモDBP(5%)加工布」では有為な喫食阻害効果は得られなかった。</p> <p>また、「KS-1(3%)加工布」, 「KS-1(5%)加工布」では若干の殺虫効果が得られたが、「マモDBP(3%)加工布」, 「マモDBP(5%)加工布」では有為な殺虫効果は得られなかった。</p> <p style="text-align: center;">検体の重量変化率 = 終了時の基準区の重量 / 初期の基準区の重量</p> <p style="text-align: center;">補正喫食量 = 初期重量 × 重量変化率 - 終了時重量</p> <p style="text-align: center;">喫食阻害率 = $(1 - \frac{\text{処理区の喫食量}}{\text{無処理区の喫食量}}) \times 100$</p> <p style="text-align: center;">補正死亡率 = $(1 - \frac{\text{処理区の生存率}}{\text{無処理区の生存率}}) \times 100$</p>	